

第12回昭和の森 親子田んぼ教室

田んぼの草取り

萩 將勝(千葉市)

日 時： 2024年6月29日（土）9:30～12:00 天気：曇り

参 加 者： 15名（男4名、女3名 子ども8名）

担当指導員： 武田、平田、萩

参加指導員： 井上、相吉 管理事務所1名

朝、雨が降り、どうなることかと心配していたが、どうにか雨は開催までに止んでくれたが蒸し暑い。ハンゲショウが色付く現場で今日の親子田んぼ教室の準備をして、受付を済ませ、注意点の説明を受けた、皆の来るのを待つ。

今回は全員で15名、ブルーシートに荷物を置き、田に入る準備をして、草取りの方法、なぜ草取りをするのか、取った後の草は丸めて足で土の中へ埋め込む、その効果などを説明した後、自分たちが植えた田に向かいます。

先ずは、稲の成長具合を測定、田植えしてから2か月、高さ15cm、3～5本稻苗を植えたものが、高さは70～80cm、株の茎を数えると20～30本にも分けつが進み、この2か月間の成長度合いを確認しました。

田に入っての草取りは、あまり草は無く、特に畔から田の方に攻めてくる草を中心に草取りをすると同時に採集します。汚れた手足を川の水で洗い、採集した草の特徴を調べました。イ、コナギ等、10数種類の草を確認しました。オオヨシキリの巣を見た後、いよいよ、子ども達待望の生き物採集です。大人も子どもも各々網、獲物を入れるバケツを持ち、田んぼ、水路、や池で生き物を探します。捕った生き物は、容器に入れ、それぞれ名前や、その特徴を説明しました。最後に七夕の飾り付け、短冊に願い事を記入し笹に飾り付けて今日の観察会を終了しました。

大人も子どもも多くの生き物に接し、まじかに観察し、各々、いろいろな発見があったようで、みな笑顔で帰路につきました。



田んぼで採集した草の説明



七夕飾りと一緒に